

新年あけましておめでとうございます。平成22年、最初のレターをお届けします。肌寒いこの時期は、あったかい温泉が恋しいものです。温泉といえば、別府！ということで、今回は別府市のまちづくりについて紹介します。

1. まちづくり事例紹介

鉄輪温泉地区

鉄輪温泉地区は、まちづくり交付金を利用して、平成17年度～平成21年度の5ヶ年での整備を行っています。

ふれあいと情緒ある温泉街の再生を目指し、「鉄輪むし湯温泉」の建て替えや地区内の主要道路である「いでゆ坂」、「みゆき坂」の石畳舗装、ポケットパーク整備などを行っています。

いまではすっかり有名となった「鉄輪むし湯温泉」は、平成18年8月にリニューアルし、平成21年9月には来場者が10万人を超えました。

そして新たなまちおこしセンター施設として「地獄蒸し工房 鉄輪」を整備中です。名前のとおりこの施設では「地獄蒸し料理」を体験することができます。

ちなみに「地獄蒸し」とは、「温泉の蒸気を利用し、野菜や魚介類などを蒸す鉄輪地区に伝わる独特の料理法」です。また、施設に隣接して、車いすに乗ったまま利用できる足湯も整備されます。

これら施設のオープンは、平成22年3月末の予定です。



▲まちおこしセンター「地獄蒸し工房 鉄輪」のイメージ図



▲湯けむりが立ちのぼる鉄輪温泉



▲鉄輪むし湯

別府駅周辺地区

別府駅周辺地区は、まちづくり交付金を利用して、平成17年度～平成21年度の5ヶ年での整備を行っています。

中心市街地の魅力と活力向上を目指し、別府駅前広場や北浜公園整備、竹瓦温泉改修などを行っています。

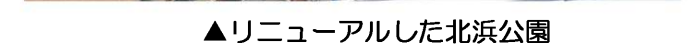
北浜公園は、海を望める公園をコンセプトとして、40年ぶりにリニューアルオープンし、芝生広場や木製デッキが整備されました。また、公園の北側には、ヨットをイメージした時計モニュメントも設置されています。

平成21年8月からは、「海門寺温泉」の建て替えも行っています。熱い湯を好む地元の人に対して、温い湯を好む観光客にも配慮して、「あつ湯(44℃)」と「ぬる湯(42℃)」の二つの浴槽が、男湯、女湯ともに設置されています。

この施設のオープンは、平成22年2月末の予定です。



▲新しい「海門寺温泉」のイメージ図



▲リニューアルした北浜公園

2. おおいたらしさ景観創出事業

県内の景観・まちづくり活動の核となる人材育成・啓発活動を目的に、「おおいたらしい景観・まちづくりとは何か？」を大きなテーマとして、通年で講座・フォーラム等を開催しています。今回は第5回景観・まちづくりコンダクター育成講座について開催案内します。

京都で滞在型観光まちづくりをビジネスモデル事業として展開している梶浦秀樹氏を講師に迎え、「美しい日本を次の世代に～滞在体験型観光まちづくりによる地域の魅力創出～」と題して講座を開催します。

日時は、平成22年1月29日(金)午後1時30分～午後5時まで
場所は、大分県庁舎 新館14階大会議室です。

参加は無料ですが、事前申し込みが必要です。皆さんの参加をおまちしています。問い合わせは、景観自然室 まちづくり推進班まで。

TEL 097-506-2138



▲梶浦 秀樹氏

<編集後記>

まちづくり関連のご質問やご相談がありましたら、まち班までお気軽にご連絡ください。また、まち班のHPでも、まちづくり情報を発信していきますので、ぜひご覧ください。

↓まち班のHPへアクセス↓

大分県 まちづくり推進班

検索